



1. 働く

(1) 働きやすく魅力ある職場に向けた労働条件と職場環境の改善

- 1) あるべき各級労使協議会、安全衛生委員会の形を労使で再認識し、課題解決に直結する場とします。
- 2) すべての店舗がルール通り働けるように店舗間格差の是正を図ります。
- 3) 地域における職場課題の解決に向けて、グループ要請に取り組みます。
- 4) 組織内外から学ぶ機会を作り、組合員一人ひとりの仕事の視野を拡げます。
 - ① 経営幹部・幹部候補の育成として流通の未来を考える機会
 - ② 商品別や事業部別など多様な切り口で学ぶ機会

(2) 目標を明確にした生産性向上の実現

- 1) 限られた人時で最大限のパフォーマンスを発揮できる職場を目指し、事業所労使協議会を起点とした業務の見直しを労使で検討・実施します。
- 2) 自社商品の魅力を知る機会を検討し、実施していきます。
- 3) 活性化店舗の成功を目標に、労使で必要な取り組みを検討し、実施します。

(3) 社会の変化、ライフステージに合わせた働き方の実現

- 1) 本部企画と連携してライフステージに合わせた働き方の実現のサポートを行います。

2. 暮らす・生きる

(1) 社会貢献活動の推進とボランティアマインドの醸成

- 1) イオン労連と連携しイオンハートフルボランティアに取り組みます。
- 2) 地域と連携した交流機会の実施を検討していきます。
- 3) マイハート基金に対しての周知を行い、グループで継続的にできる活動を模索します。

(2) 組合員が学び体験できる機会の実現

- 1) 終戦80年の節目の年として、多くの組合員が平和について考える機会を創出します。
- 2) 他業態・他業種からの学びを得る機会を創出します。
- 3) ターゲットを明確にした学びや体験の機会を創出します。
- 4) 共済運動を通じて組合員の生活メリットの拡充に取り組みます。

(3) 社会とのかかわりの日常化と課題解決に向けた枠組みを構築

- 1) 2025年施行の第27回参議院議員選挙・中間地方選挙における、組織内候補予定者並びに推薦候補者の必勝に向けて、組織の総力を結集し取り組みます。
- 2) パートナー議員や友好議員との交流や地域政治に対しての関心を高める機会を継続して実施します。

3. 組織基盤

(1) 組織基盤である組合役員体制と組織運営の確立

- 1) ゾーン役員役割を明確にして、ゾーン内で担当業務における活動を責任をもって遂行します。
- 2) ありとあらゆる組合員を巻き込むことで活動の充実を図ります。
- 3) 職場で起きる課題を解決するために、課題解決サイクルを回します。
 - ① 支部集会……職場の課題を集約することを目的に、全支部で実施します。
 - ② 支部執行委員会……事業所労使協議会の作戦会議の場として全支部で毎月1回実施します。
 - ③ 事業所労使協議会…労使で職場の課題解決に向けた話し合いの場として、あるべき姿で実施します。
 - ④ 組合活動の周知……集約した課題に対して必ずフィードバックを行います。

(2) 組織運営を支える教育・内部統制の強化

- 1) 組織運営を支える教育
 - ① 組合役員教育：ユニオンスクールコースⅠの実施、ユニオンスクールコースⅡ・Ⅲへの戦略的な派遣
 - ② 組合員教育：入組式の確実な実施、経営数値セミナーの実施
- 2) 内部統制の強化
 - ① 会計ルールの勉強会を実施し、ルールに沿った健全な組合活動を推進します。
 - ② 活動計画に沿った予算執行が行えているか、各級会議体を通じて定期的に確認します。
 - ③ 会計担当者会議を行い、健全な活動の実施を支える基盤を構築します。
 - ④ 災害発生時にグループで統一した行動が取れるように、ルールの確認と周知を行います。